ASAHI EITO

施工業者様用

ニューレット（簡易水洗）　施工説明書

施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより、事故や損害が生じたときは当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は製品保証の対象外となります。

■ 安全上のご注意（必ずお守りください。）

ここに示した注意事項はお使いになる方が製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を⚠警告と⚠注意で区分し、説明しています。お守りいただく事項の種類を次の図記号で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」の内容です。	してはいけない「水場禁止」の内容です。	必ず実行していただく「強制」の内容です。

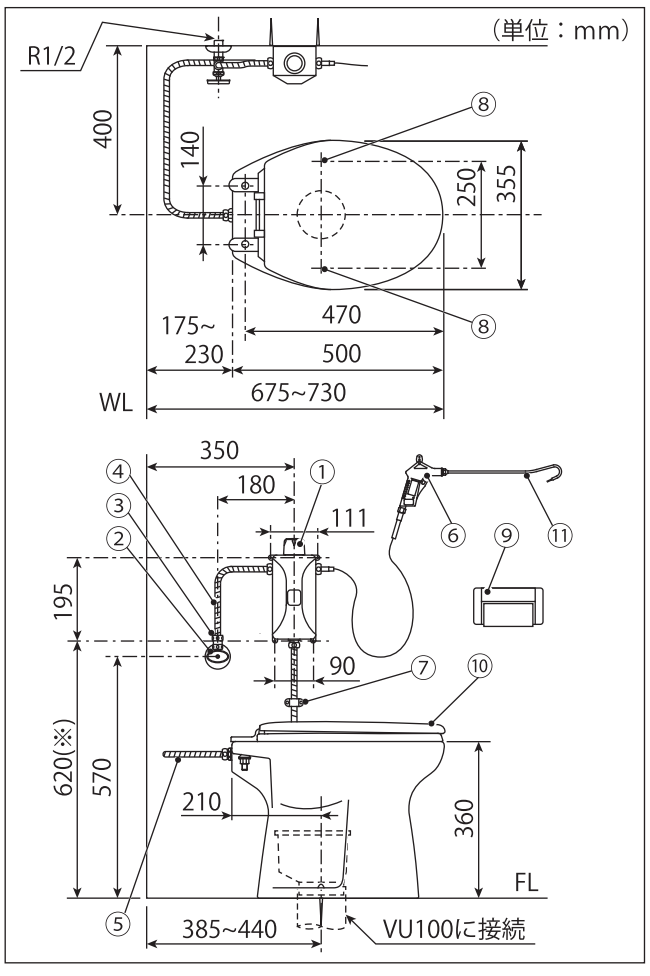
【寒冷地仕様の場合】　⚠ 警　告　人が死亡、又は重傷を負うおそれがあります。

水場使用禁止	**水がかかったり、製品表面に結露が生じるような浴室などでは絶対に使用しない** 湿気のため、故障、感電、漏電の原因になります。
禁止	**電源コードを無理な力（曲げ・折れ・ねじれ・引っぱり）で傷つけたり、加工や改造を絶対に行わない** 感電、火災の原因になります。
必ず守る	**ヒーター用プラグの電源に、交流100Vを使用し、コンセントにがたつきのないことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む** 交流 200Vや直流電流を使用しますと、火災や故障の原因になります。

⚠ 注　意　障害を負う、又は物的損害が生じるおそれがあります。

禁止	**製品に衝撃を与えない** 陶器が破損してけがをしたり、漏水のため家財などを損傷する原因になります。
	水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水は使用しない 衛生上のトラブルや故障の原因になります。
必ず守る	**施工に使用する部品は必ず付属部品を使用する** 正常な取り付けが出来なくなる可能性があります。
	施工は、この説明書に従って確実に行う 施工に不備があると、漏水で家財などを濡らす原因になります。

■ 標準工事図面および施工上の注意



■ 同梱部品

No.	品名
①	コントロールボックス
②	止水栓
③	逆止弁アダプター
④	給水配管（L=300）
⑤	洗浄配管（L=1000）
⑥	ウォーターダスターセット
⑦	フレキシブル管バンド
⑧	便器取り付けねじ
⑨	ワンタッチペーパーホルダー
⑩	便座（別売）
⑪	洗浄ノズル

■ 便槽の選定基準

家族数	容量
3～4人	600L
5～6人	800L
6～7人	1000L

※510mm未満に設置しないでください。バキュームブレーカーから漏水することがあります。

- 浄化槽や公共下水道には接続できません。必ず便槽に接続してください。便槽は 600L以上で、上表を参考に選定してください。また温水洗浄便座を使用する場合は一段大きいものを選定してください。
- 電気工事、水道工事は関連する法令・規定に従って必ず有資格者が行ってください。
- 使用可能水道圧範囲は、0.069MPa（流動時）～0.69MPa（静止時）です。
- 高水圧地域においてはウォーターハンマーが発生する場合があります。その時は水撃防止器具を設けてください。
- 不特定多数の人が使用される場所への設置は避けてください。
- 室温が 0℃以下になる場所では寒冷地仕様のコントロールボックス（WB103H※使用限界室温：-5℃）を使用してください。また止水栓からコントロールボックスまでの給水配管に水道凍結防止帯（市販品）を取り付けてください。
- 臭突管ベンチレーターに電動ファンのものを使用しないでください。負圧により、排便装置の便皿が開閉し、異音や臭気上がりの原因になります。

■ 縦型便槽施行例および配管上の注意

①配管材料

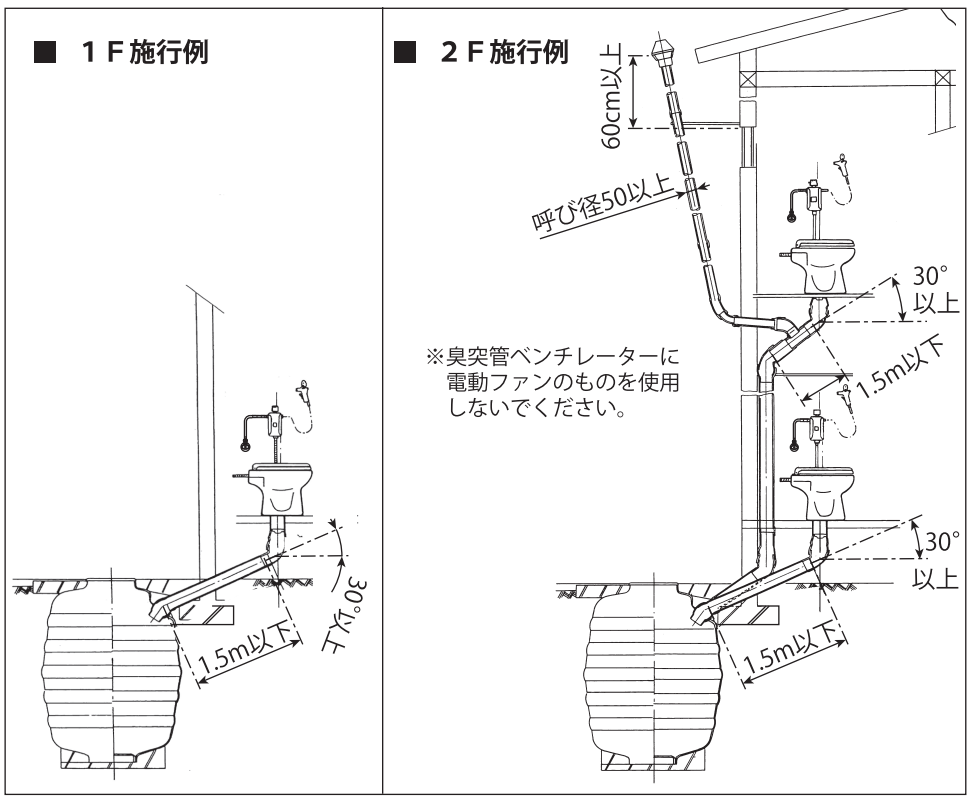
- 管の材質は、JIS K6741 による硬質ポリ塩化ビニル管を使用してください。

②汚水管

- 管の種類は VU100 を使用してください。
- 横引き管の長さは 1.5m以内、勾配は 30 度以上を確保してください。
  ※勾配が小さいと汚物が停滞し、詰まりが発生しやすくなります。
- 横引き管の途中には継手は使用しないでください。
- 接続部の接着は漏水、漏気が無いように、確実に行ってください。

③排気管

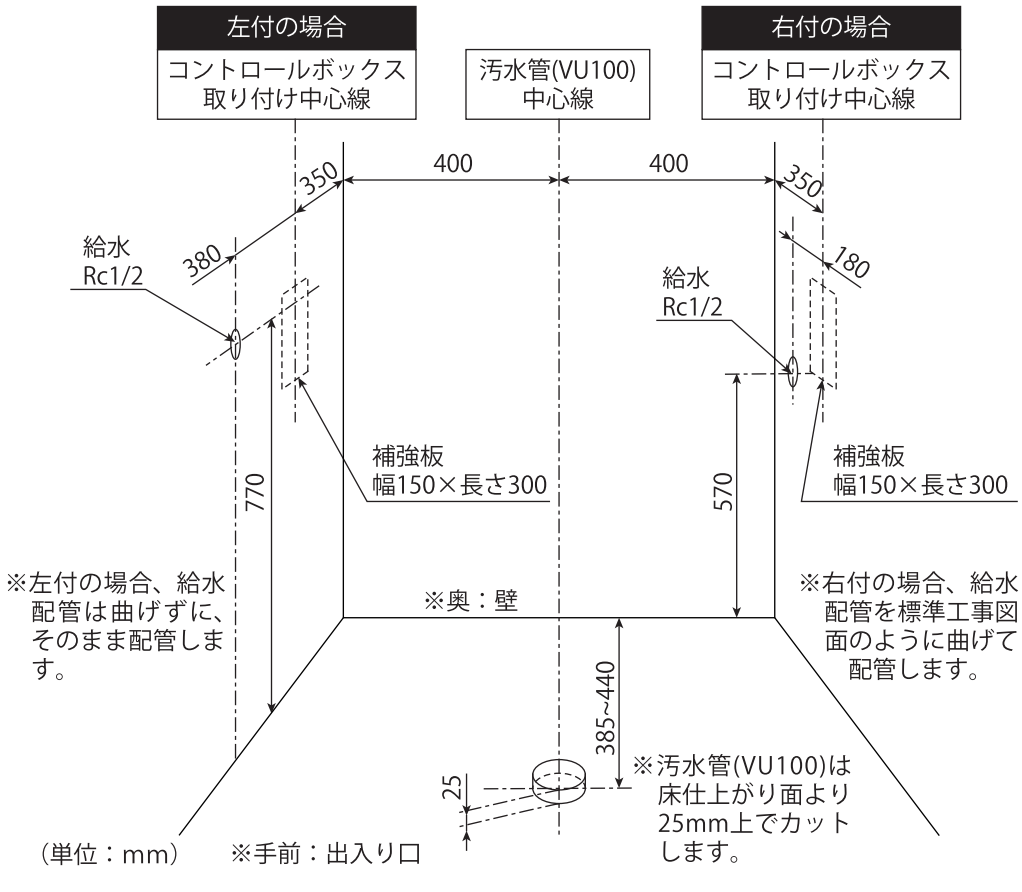
- 管の種類は呼び径 50 以上を使用してください。
- 立て管（汚水立て管）が 1.5mを超える場合は、その上部などから排気管を設置してください。
- 排気トップを設置する場合は、防臭機能に支障がないものを使用してください。
- 排気トップの下端は建物の窓や排気口などの上端から 60cm 以上の高さに設置してください。



1 便器の給水・汚水管の位置決め

①標準工事図面を基準にして、便器の据付位置を確認してください。
汚水管（VU100）を下図の位置に、床仕上がり面より 25mm上でカットしてください。

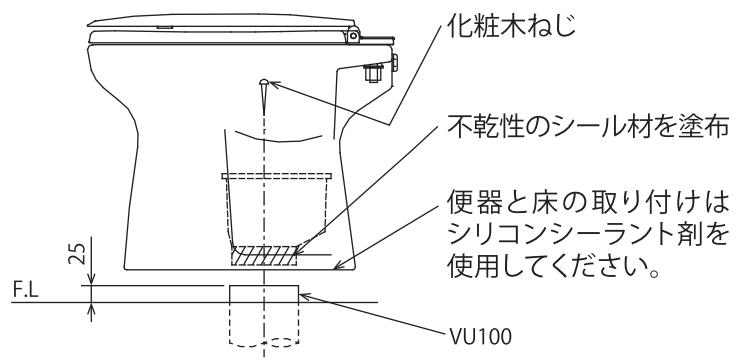
②給水管を壁面より取り出してください。
※器具取り付け前に給水管、汚水管に異物が混入しないようにしてください。



2 便器と汚水管の接続

①便器の排便装置本体差込部の外周に不乾性のシール材を塗布し、汚水管に差し込んでください。

②便器を化粧木ねじで床に確実に固定してください。
※締めすぎて便器を割らないように注意してください。

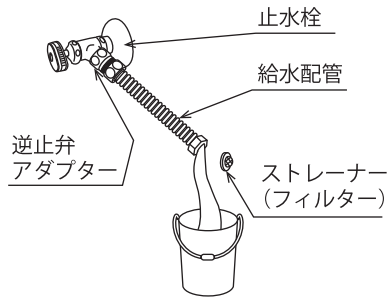


3 止水栓の接続

①給水接続口に止水栓を接続してください。
（ニップルにシールテープをまいて水漏れがないようにしてください。）

②止水栓に逆止弁アダプター、給水配管を接続してください。

③配管内の異物を洗い流すために止水栓を傾けて開け、5～6分間必ず通水してください。

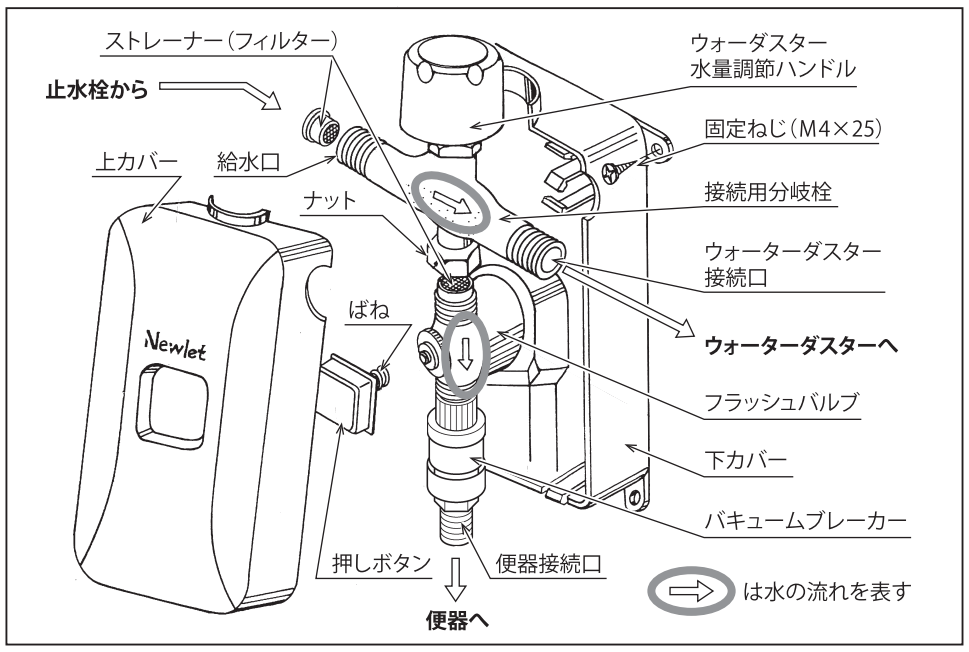


⚠注　意

配管内の異物を洗い流してからコントロールボックスを接続する

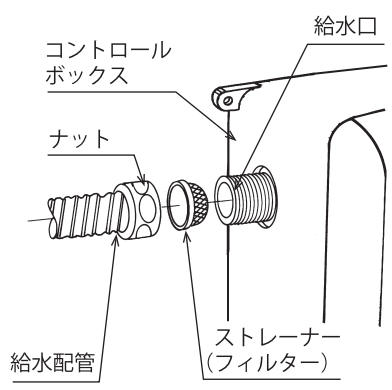
配管内に異物が残っているとコントロールボックスに異物が入り、正常に動作しなくなります。

4 コントロールボックスの取り付け



①コントロールボックスを同梱のねじで壁面に固定してください。
※必ず垂直に固定してください。垂直に取り付けしないとバキュームブレーカーが正常に動作しなくなります。
※コンクリート壁の場合は市販のコンクリート用プラグなどで取り付けてください。

②標準工事図面を参考に止水栓の給水配管を上向きにして、コントロールボックスに接続してください。
※かならずストレーナー（フィルター）をコントロールボックスの給水口に装着してください。



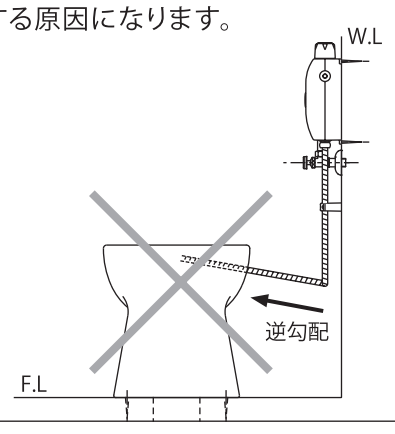
5 洗浄配管の接続

①洗浄配管をコントロールボックスと便器に接続してください。

⚠注　意

洗浄配管を逆勾配に施工しない

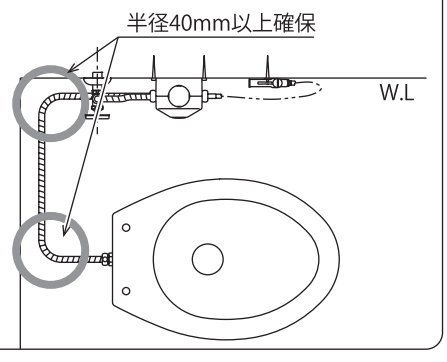
バキュームブレーカーから水漏れする原因になります。



⚠注　意

洗浄配管の曲げ半径は 40mm以上を確保し、屈曲を繰り返さない

洗浄配管に亀裂が入り、水漏れの原因になります。



6 取り付け後の確認

①便器洗浄面にバケツ等で 10L の水を流して配管から水漏れしていないか確認してください。

②止水栓を開いて通水し、各部から水漏れしていないか確認してください。

③洗浄水を流した時に排便装置の排便皿がスムーズに開閉するか確認してください。

④ウォーターダスターのレバーを握り、飛び跳ねない程度の水量へ調整してください。

⑤便器表面に傷がないか確認してください。

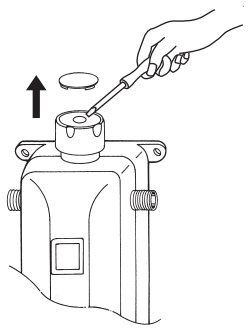
⑥工事の際に発生した微細な鉄粉等が便器表面にないことを確認してください。
もらいサビが便器表面に付着するおそれがあります。

⑦施工後はトイレ用中性洗剤などを含ませた軟らかい布やスポンジで必ず清掃を行ってください。
※シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤および漂白剤などを使用して掃除しないでください。樹脂部分がケミカルクラックを起こし、割れたり、変色・変形を起こしたりする場合があります。

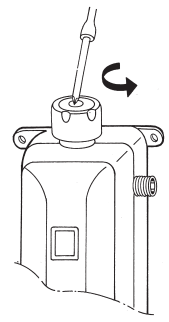
■ 現場で右給水に変更する場合

工場出荷時、給水方向は左給水ですが、現場で右給水に変更する時は下記の手順に従って接続用分岐栓を 180 度回転させて取り付けてください。

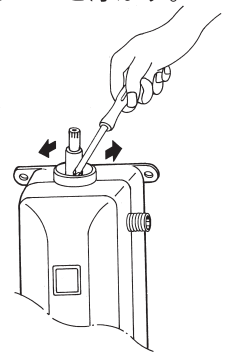
① キャップをはずす。



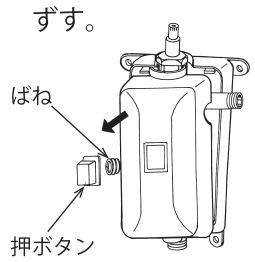
② 固定ビスをはずし、水量調節ハンドルを取りはずす。



③ ドライバーなどで上カバーを浮かす。

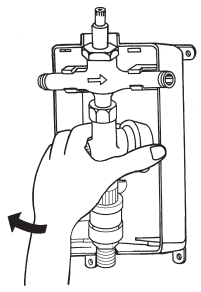


④ 上カバーを手前に引っぱって、取りはずす。

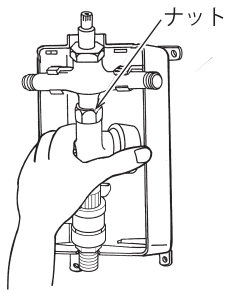


※取り外す際に押ボタンとばねが飛び出すおそれがあります。紛失しないように、注意してください。

⑤ 手で取りはずす。

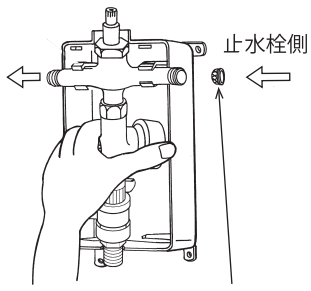


⑥ ナットを緩めて、接続用分岐栓を 180 度回転させ、ナットを締め直す。

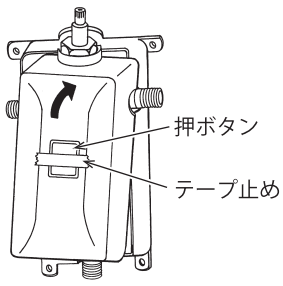


※ナットの締めすぎに注意してください。

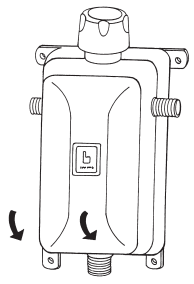
⑦ ストレーナー（フィルター）を止水栓側に取り付ける。



⑧ 押ボタンを上カバーにテープで仮留めし、下カバーに上部からはめ込む。



⑨ 下部をはめ込んで、水量調節ハンドルとキャップを取り付ける。



⚠注　意

接続用分岐栓のストレーナー（フィルター）は必ず止水栓側に取り付ける

コントロールボックスに異物が入り、正常に動作しなくなります。

アサヒ衛陶株式会社
ホームページ：http://www.asahieito.co.jp/

18.03T